STRDESIGN V16.3 レベルアップ項目について

昨年5月に実施しました顧客満足度アンケートの結果をもとに、特に要望の多かった以下 3点について機能強化対応を行いました。

【全体】

No	項目	詳細			
1	面材耐力壁の	これまで面材耐力壁の表示を倍率によって自動で切り替えていましたが、			
	表示パターン追加	筋かい同様仕様毎に表示パターン(7種類)を設定できるようになり			
		た。			
		設定した表示パターンは入力画面だけではなく、平面図や床伏図にも表示			
		することができます。			

【出力】

No	項目	詳細			
1	DXF ファイル出力時の	図面出力の一部の図面と軸組図を DXF ファイルに出力する際、部材毎にレ			
	部材別レイヤ対応	イヤが分かれるようになりました。			
		・基礎伏図			
		床伏図、小屋伏図、母屋伏図			
		・柱頭柱脚金物伏図、横架材端部金物伏図			
		・軸組図			
2	図面出力の部材	軸材(柱、小屋束)、横架材(梁、母屋、土台、大引)に関して、表示パタ			
	表示パターン追加	ーンを追加しました。			
		・1 階床伏図(柱、大引、土台)			
		・2・3階床伏図(柱、梁、母屋、小屋束)			
		・小屋伏図(柱、梁、母屋、小屋束)			
		・母屋伏図(母屋、小屋束、梁)			
		・横架材端部金物伏図(梁、柱)			
		 ・小屋横架材端部金物伏図(母屋、小屋束、梁) 			

【 全体1. 面材耐力壁の表示パターン追加 】

V16.2 までは設定した壁倍率(以下参照)によって表示を切り替えていましたが、

壁倍率

2. 5以上	 太線+破線	
2.0以上2.5未満	 太線	6
1.5以上2.0未満	 実線+破線	
1.0以上1.5未満	 実線	
1.0未満	 破線	

V16.3より面材仕様に「作図形状」項目が追加になり、仕様毎に表示パターンを設定できる ようになりました。

※旧バージョンデータや新規データの初期値は「倍率から自動設定」が設定されます。

レコード編集	— 🗆 X
分類名称: 面材仕様	
倍率 耐力壁種類 準耐力壁の場合の壁倍率算出係数 耐力壁仕様 (001) 2.50 0 - 前力壁 0 - 0.6 0 - 大璧仕様 (002) 2.50 0 - 前力壁 0 - 0.6 0 - 大璧仕様 (003) 2.50 0 - 前力壁 0 - 0.6 0 - 大璧仕様 (004) 2.50 0 - 前力壁 0 - 0.6 0 - 大璧仕様 (005) 2.00 0 - 前力壁 0 - 0.6 0 - 大璧仕様 (005) 2.00 0 - 前力壁 0 - 0.6 0 - 大璧仕様 (006) 2.00 0 - 前力壁 0 - 0.6 0 - 大璧仕様 (007) 2.00 0 - 前力壁 0 - 0.6 0 - 大璧仕様	作図形状 使用有無 ▲ 0 - 倍率から自動設定 0 - (未使用) ▲ 1 - 広線+破線 - (未使用) ▲ 2 - 広線 - (未使用) ▲ 3 - 実線+破線 - (未使用) ▲ 4 - 実線 - (未使用) ▲ 5 - 破線・東線 - (未使用) ▲ 6 - 実線+破線 - (未使用) ▲
(008) 150 0 一付力壁 0 0 二型仕様 (009) 1.70 0 一付力壁 0 0.6 0 二型仕様 (010) 1.20 0 一力力壁 0 0.6 0 二型仕様 (011) 1.20 0 一力力壁 0 0.6 0 二型性様 (012) 0.90 0 一力力壁 0 0.6 0 二支壁仕様 (013) 1.00 0 一耐力壁 0 0.6 0 二支壁仕様 (014) 1.00 0 一耐力壁 0 0.6 0 二支壁仕様 (015) 0.50 1 単耐力壁 0 0.6 0 二支壁仕様 (015) 0.50 1 単耐力壁 0 0.6 0 二支壁仕様 (015) 0.50 1 単価力壁 0 0.6 0 二支壁仕様	- 低平小ら自動設定 0 (未使用) 0 - 倍半小ら自動設定 0 (未使用) 0 - 倍平小ら自動設定 0 (未使用)
(U16) U50 1 - 2年四779壁 U - U6 U - 八壁仕様 (U17) U50 1 - 逆耐力壁 0 - U6 0 - 八壁仕様 (U17) U50 1 - 逆耐力壁 0 - U6 0 - 大壁仕様	0 - 倍半から自動設定 0 (未使用) 0 - 倍率から自動設定 0 (未使用) (倍率から自動設定 0 (未使用) /
・新だに面材任確を追加する場合は「最終行追加」ポタンをクリックし、各値を入力します ・任意に3自加した面材仕様を使用した場合、計算書の「使用材料および許容応力度」にす	おいてのが表示されます OK キャンセル
 ◇ 作画形状 ○ 倍率から自動設定(デフォルト) 上記参照 	
1 太線+破線 	
2 太線	
3 実線+破線	
4 実線	
5 破線	
6 実線+実線	

図面出力指定(例)

1 階床伏図タイプ指定						
表示方法1						
表示方法1 出力指定名称 第21 《部材》 土台 街面しない ●実寸表示 ●実寸表示(負端部防疫め) 土台 街面しない ●実幅×梁セい表示 ●梁セいのみ表示 ●没幅 ※型セい表示(全表示) ●梁世いのみ表示(全表示) 土台相種 街面しない ●抽画する ● 抽画する 市材加力壁 一面間しない ●前田町する 市 ●「市田町する ● 市 ●「市田市する ● 花 ●「抽面しない ● 日表示 ● 日表示 アンカーボルト ● 抽画しない ● 上頭線表示 ● 実材未示(負端部防疫め) + 断面寸法出表示 アンカーボルト ● 抽画しない ● 抽画する ● 根太方向 ● 抽画しない ● 抽画する ● 火打ち上台 ● 描画しない ● 描画する ● 実際の応和 ● 描画する ● ● 大方白 ● 描画しない ● 描画する ● 大線 ● 描画しない ● 描画する ● 大線 ● 描画しない ● 描画する ●	[1階床伏図タイブ指定] 抽画しない:1階床伏図に描画しません 抽画する:1階床伏図に描画しません 前力壁 耐力壁種類(計算結果)を描画 一 前力壁を倍率(入力値)を描画 ● <					
	OK キャンセル					

平面図は、入力画面と同じ表示になります。

図面出力の1階床伏図、2・3階床伏図の場合は、それぞれの図面タイプ指定にある 面材耐力壁:「面材仕様の作図形状で描画」を指定することで入力画面と同じ表示での出力 が可能です。

※計算書内の図面・床伏図では面材耐力壁は表示していません。

【 出力1. DXF ファイル出力時の部材別レイヤ対応 】

以下図面は DXF ファイル出力の際、部材毎にレイヤが分かれて出力されます。

※計算書内の図面は対応していません。

図面	対象図面	補足
図面出力(A3)	基礎伏図	許容応力度計算、梁断面算定、性能表示+梁断面算定
図面出力(A2)	床伏図(1~3階)	許容応力度計算、梁断面算定
	小屋伏図	許容応力度計算、梁断面算定、性能表示+梁断面算定
	母屋伏図	許容応力度計算、梁断面算定、性能表示+梁断面算定
	柱頭柱脚金物伏図	許容応力度計算のみ
	横架材端部金物伏図	許容応力度計算のみ
軸組図出力(A3)	軸組図	許容応力度計算、梁断面算定、性能表示+梁断面算定

レイヤ情報(一部抜粋) ※他図面のレイヤ情報はマニュアルを参照

図面	対象部材	DXF レイヤ名
基礎伏図(べた基礎)	2段寸法線、補助寸法線	SUNPOSEN2
	スラブブロック	SLAB
	外周地中梁	GAISYUTITYUBARI
	内部地中梁	NAIBUTITYUBARI
	内部立上り	NAIBUTATIAGARI
	外部土間	GAIBUDOMA
	土間	DOMA
	内部土間	NAIBUDOMA
	柱	HASHIRA
	アンカーボルト	ANCHORBOLT
	床束	YUKATUKA
	床下換気口、人通口、通風口	KISOKAIKO
	グリッドポスト	GRIDPOST
	コラムベース	COLUMNBASE
	寸法線	SUNPOSEN
	番付	BANDUKE
1 階床伏図	2段寸法線、補助寸法線	SUNPOSEN2
	土台	DODAI
	筋かい	SUJIKAI
	面材耐力壁	MENZAI
	柱	HASHIRA
	大引	OBIKI

富士通エフ・アイ・ピー(株) 2017 年 3 月

アンカーボルト	ANCHORBOLT
床組、根太方向、根太	YUKAGUMI
火打土台	HIUTI-DODAI
積載荷重	SEKISAIKAJU
既製バルコニー	BALCONY
寸法線	SUNPOSEN
番付	BANDUKE

例) AUTOCAD での基礎伏図べた基礎のレイヤ(画層)一覧画面

現在の画層:0											
71119	^K 状名前	▲ 表示				線種	線の太さ	透過性	印刷ス		新
■ [■] すべて(A)		Ŷ		E.	white	Continu	—— 既定			-	2
□ すべての使用中の画層(A)	ANCHORBOLT	÷	- 00	-	white	Continu	—— 既定				- E
● ビューボート優先プロバティを	🖹 🥒 BANDUKE			6	white	Continu	—— 既定	0			
	COLUMNBASE	Ŷ		6	white	Continu	—— 既定			-	1
	🛩 DOMA	÷	- <u>0</u> -	£	white	Continu	—— 既定			-	5
	GAIBUDOMA	•		-	white	Continu	—— 既定			-	1
	🛩 GAISYUTITYUBARI	•	÷.	ef.	white	Continu	—— 既定			-	B
	🛩 GRIDPOST	•		.	white	Continu	—— 既定			-	1
	🛩 HANREI	•	<u> </u>	ъ£	white	Continu	—— 既定			-	1
	🛩 HASHIRA	•		-	white	Continu	—— 既定			-	1
	🛩 KISOKAIKO	•	÷.	ef.	white	Continu	—— 既定			-	1
	NAIBUDOMA	•		-f	white	Continu	—— 既定			-	100
	NAIBUTATIAGARI			÷	white	Continu	—— 既定			-	
	NAIBUTITYUBARI	÷		-	white	Continu	—— 既定			-	1
	🛩 SLAB	•	0	6	white	Continu	—— 既定				F
	SUNPOSEN	•		E.	white	Continu	—— 既定			-	
	SUNPOSEN2	•	<u>.</u>	f	white	Continu	—— 既定			-	
	🛩 Υυκάτυκα	•	- <u> </u>	-	white	Continu	—— 既定			-	
				120700							

<DXF 出力の塗りつぶしについて>

柱頭柱脚金物伏図と軸組図に関しては、塗りつぶしの部材が出力されます。 出力時の塗りつぶしが不要な場合は、以下の「環境の設定」で"DXF 出力時に塗りつぶし をしない"にチェックを入れてから DXF 出力を行ってください。

ァイル(F) 作成(C) ページ(P) 表示(V) ヘルブ(H)		環境の設定		
聞く(O) 問じる(C) レイアウトファイルを開く(L) DXEファイルとして保存(D)	オプション グリッド 印刷領域線 印刷 標準のレイアウトファイル(E): C¥PROGRA [*] 2¥STRDES [*] 1¥DOCUME [*] 1¥Layout¥Defaultkzl ログファイル(<u>L</u>):	参照		
UAP ファイルとして保存(U) 接境設定(E)	Ctrl+P	ivers¥f001088.FIPDS¥AppData¥Roaming¥STRDESIGN¥err.log ログファイル表示用プログラム(①): C:¥WINDOWS¥NOTEPAD.EXE 参照		
印刷(P) ブリンタの設定(R) 印刷位置の調整(M)		標準の出力指定ファイル(S):	参照	

【出力2.図面出力の部材表示パターン追加】

図面出力に対して、柱、小屋束、梁、母屋、土台、大引の表示パターンを追加しました。

【軸材(柱、小屋束)】 表示している横架材の下にある部材は×表示、上にある部材は□表示に統一しました。 また×表示は×が大きい表示パターン、□表示は■表示および□が大きい表示パターンを追加し ました。

【横架材(梁、母屋、土台、大引)】 端部位置が確認しやすいよう、端部が負け表示が短めの表示パターンを追加しました。

<2・3階階床伏図タイプ指定(例)>

2・3 階床伏図タイプ	指定		×
表示方法1			
出力指定名称	タイプコ		[2・3階床伏図タイプ指定]
《部材》			描画しない:2:3階床伏図に描画しません
梁	○描画しない	◉実寸表示 ○実寸表示(負端部短め)	抽画する:2・3階床状図に抽画します
梁断面寸法	○描画しない	 ②梁幅×梁せい表示 ○梁世いのみ表示 ○梁幅×梁せい表示(全表示) ○梁世いのみ表示(全表示) 	面材耐力壁 耐力壁種類(計算結果)を描画
梁樹種	○描画しない	 ● 描画する (全表示) 	The strength
梁下り	○描画しない	 ・ 描画する 	ALL AND
母屋	○描画しない	● 点線表示 ◯ 点線表示(負端部短め)	耐力壁と倍率(入力値)を描画
母屋断面寸法H	○描画しない	● 描画する ○ 描画する(母屋梁表記なし)	2.5 2.5
筋かい	○描画しない	● 描画する	
面材耐力壁	○描画しない	 	根太方向 床組と根太方向
当階柱	○描画しない	 ● □表示 ○ ■表示 ○ □表示(大きめ) 	
下階柱	○描画しない	● ×表示 ○ ×表示(大きめ)	根太太描画
通し柱	○描画しない	 ・ 描画する 	
根太方向	○描画しない	 床組と根太方向を描画 根太を描画 	
火打	○描画しない	● 描画する	※根太は上部構造タブの伏図ー>根太で入力
屋根領域	○描画しない	● 描画する	(博道計算には未使用)
屋根勾配	○描画しない	 ・描画する 	梁斯面寸法 梁幅×梁世()表示
小屋束	○描画しない	● 口表示 ○ ■表示	
既製バルコニー	○描画しない	 ・ 描画する 	2011 2 11 2 11 2 21 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
積載荷重	○描画しない	● 描画する	
部屋名(吹抜)	○描画しない	●描画する	
寸法線	○描画しない	● 描画する	母屋位置 漆せい≤120:占線表示
番付・通り芯線	○描画しない	● 描画する	梁せい>120:実線表示
≪凡例≫			母屋断面寸法
凡例	○描画しない	● 描画する	梁せい>120の場合"母屋梁"表示あり
			ОК <i>キャンセル</i>

※注意:1階床伏図、2・3階床伏図、小屋伏図、母屋伏図は計算書内の図面と図面(A2 A3)の出力形式は異なるため、上記設定は計算書内の図面には反映されません。

<出力例>

V16.2 の出力



V16.3 の出力(梁の端部短め表示、当階柱■表示、下階柱×大きめ表示に設定変更)

